

自閉式サーモスタット シャワーバス金具 シャワー金具

TOTO

ご愛用のしおり

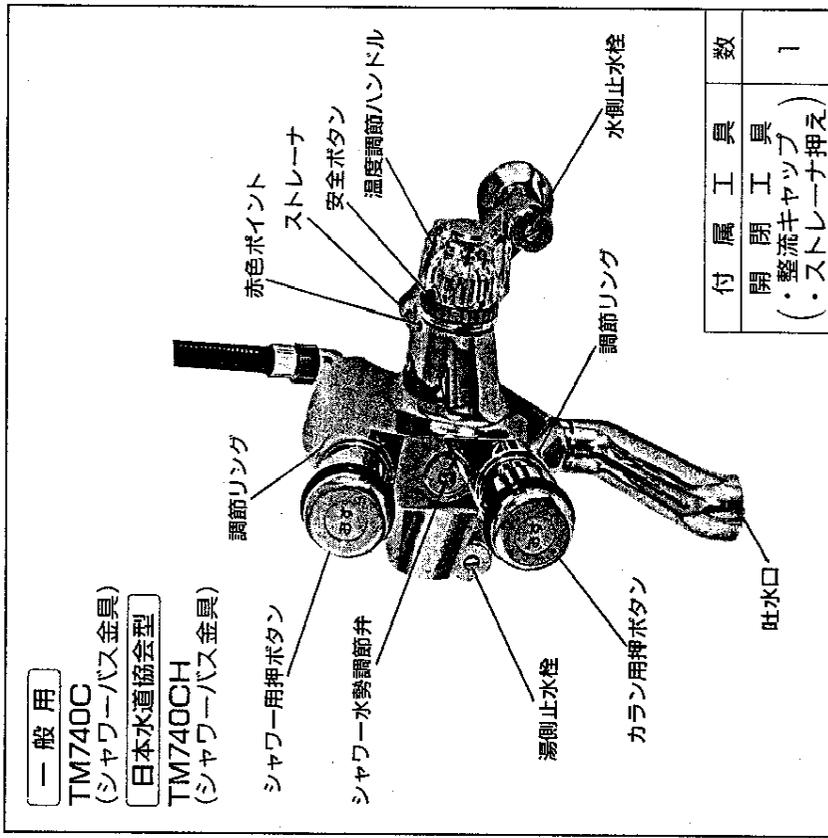
- このたびは、TOTO自閉式サーモスタットシャワーバス金具・シャワー金具をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

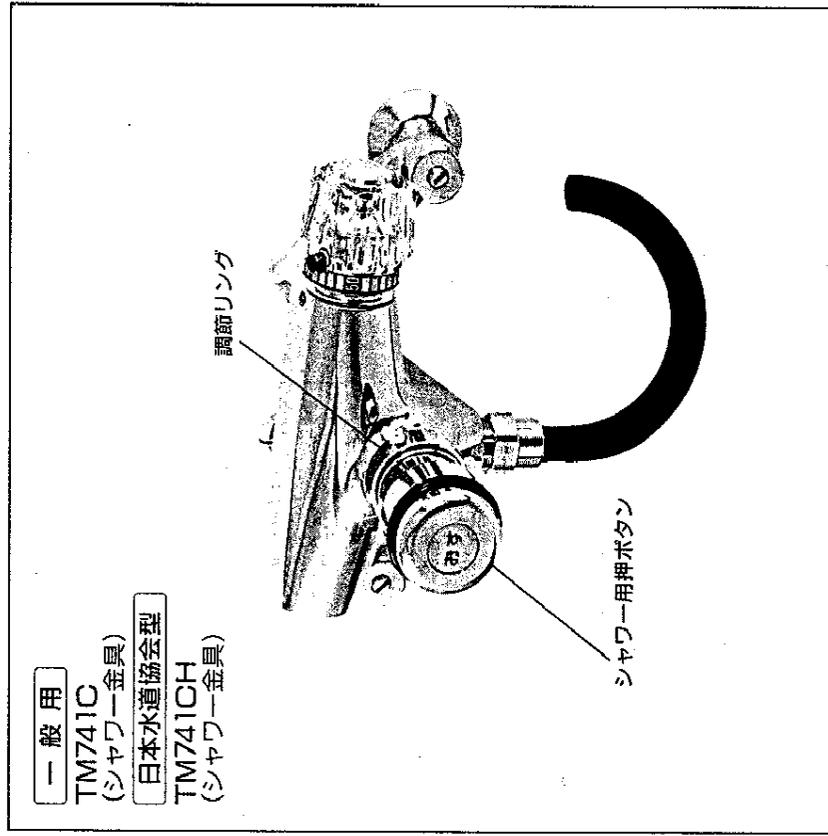
特長・各部のなまえ	1～2
つかいかた	3～4
整流キャップの掃除	4
使用上の注意	5～6
ストレーナーおよび自閉弁の掃除	7
温度調節のしかた	8
水勢の調節	9
吐水量または吐水時間の調節	9
手入れのしかた	10
故障したときは	10

特長・各部のなまえ

1. この製品は押ボタンを押しただけで一定時間吐水し、自動的に止水します。
2. 衛生的で節水・省エネ効果が大きく経済的です。
3. 吐水時間の調節が簡単にできる調節リングを設けています。
4. 吐水時間の調節は、押ボタンを外さなくても出来ます。
5. シャワー側およびカラシ側の自閉弁の機構は同一です。
6. シャワーバス金具の場合、シャワーの水勢調節が出来る水勢調節弁を設けています。

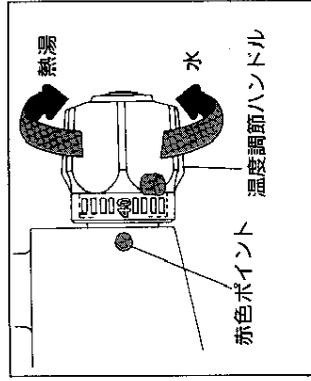


7. 混合水の温度を自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
8. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
9. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出すことはありません。
10. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。
11. 圧力調整や内部の分解・清浄に便利な止水栓を設けています。



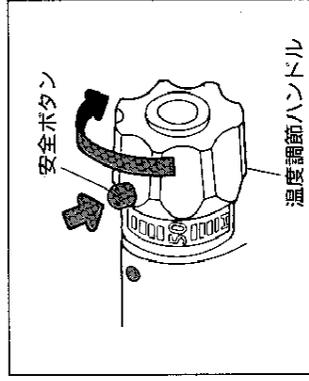
つかいかた

1. 温度調節



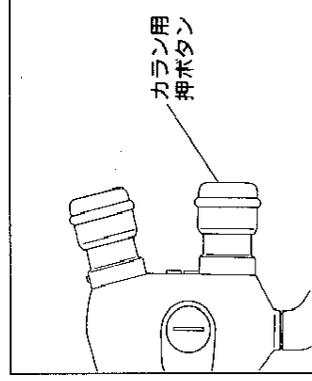
温度調節ハンドルを回してお望みのダイヤルを赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

2. 安全ボタン



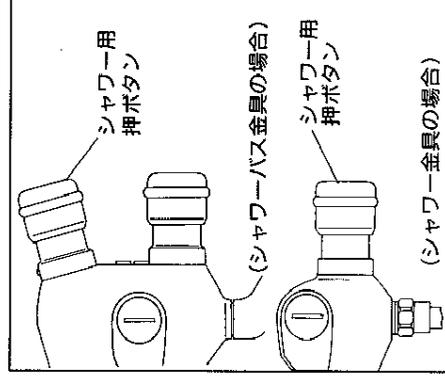
温度調節ハンドルには誤まって熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛「40」付近でロックされますので、これより高温で吐水させたいときは安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻してください。

3. カラン吐水(シャワーバス金具の場合)



カラン用押ボタンを手で押して離すとカランから一定量吐水し自動的に止水します。

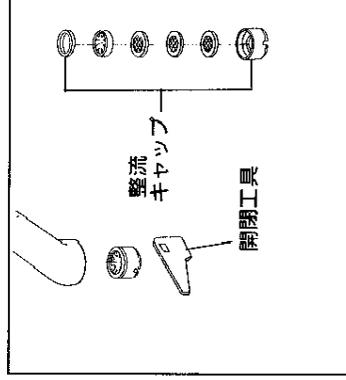
4. シャワー吐水



シャワー用押ボタンを手で押して離すとシャワーから一定時間吐水し自動的に止水します。

整流キャップの掃除 (シャワーバス金具の場合)

整流キャップがつまると、水の流れが乱れたり、吐水量が少なくなるなど機能を十分発揮されなくなりますので、ときどき付属の開閉工具で整流キャップを取り出し掃除してください。

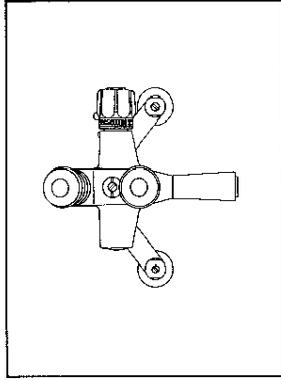


注：付属の開閉工具は、ストレーナ及び自閉弁の掃除をする場合にも使用しますので、なくさないよう保管してください。

使用上の注意

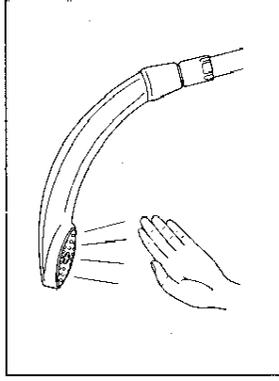
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



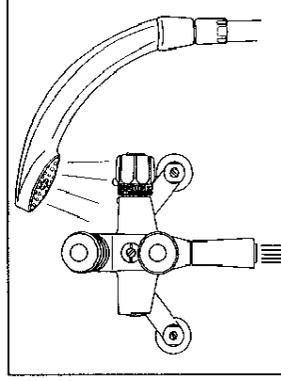
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようご注意ください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し高温の残水を流しておいてください。

2. 使用前に湯温を確かめる



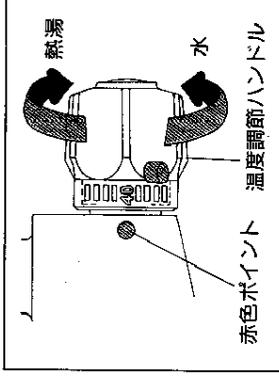
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

3. シャワー使用時には、カラン側を使用しない(シャワーバス金具の場合)



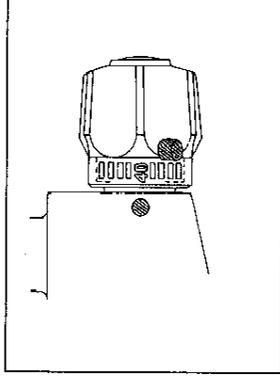
シャワー側を使用中、同時にカラン側から吐水させるとシャワーの湯温が若干変わることがあります。シャワー使用時には、カラン用押ボタンを押さないでください。

4. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。急に回しますと温度があがりすぎる場合があります。

5. 温度調節ハンドルは“40”以下にする



熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。

(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

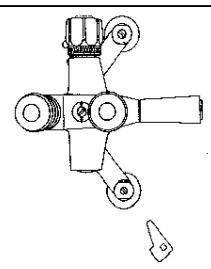
給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

1. シャワー用水勢調節弁は全開でご使用ください。(シャワーバス金具の場合)
2. 湯沸器の温度調節つまみを(高)の位置にし、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
3. 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

ストレーナー及び自閉弁の掃除

止水栓のストレーナーがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなると十分な機能が發揮されなくなりますのでときどき次の要領で掃除してください。

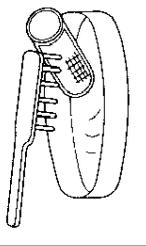
1. 付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。



2. 開閉工具又はドライバでストレーナーをゆるめてください。



3. ストレーナーを取り出し、ストレーナーの網目につまんだごみをブラシなどで取除いてください。



自閉弁のストレーナーおよび減圧板がつまると、流れ放しになるなど十分な機能が發揮されなくなります。掃除する場合は次の要領で掃除してください。

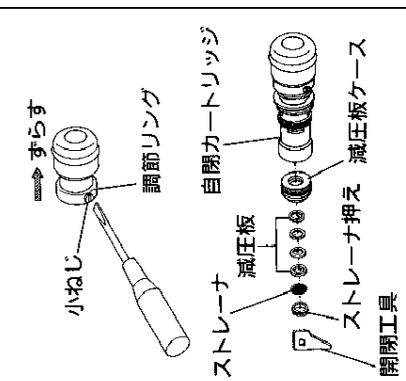
1) 止水栓を閉じる。

2) 調節リングの小ねじをドライバでゆるめて調節リングを押ボタンの方へずらす。

3) 自閉カートリッジをスパナでゆるめて取出す。

4) ストレーナー押えを付属の開閉工具で外す。

5) ストレーナーを取り出し（取出しにくい場合には減圧板ケースも取外してください。）、網目につまんだごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。



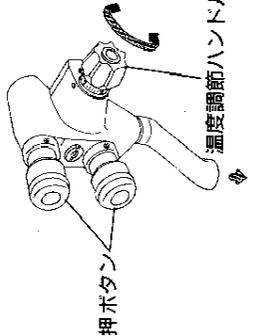
6) 減圧板を取出し、裁縫針などの針先で小穴をついて掃除する。
 注：減圧板は4枚使用しています。組立ての際は必ず4枚とも組込んでください。(小穴の方向性はありません)
 注：組立てる際はストレーナー押え・減圧板ケース・自閉カートリッジ・調節リングの小ねじがゆるまないよう十分に締付けてください。

温度調節のしかた

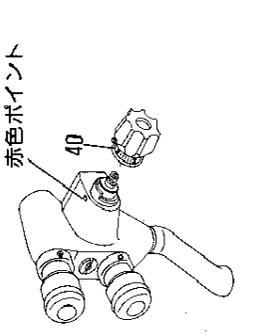
ダイヤル通りのお湯が出なくなったり、次の要領で温度調節してください。

- 調節する前に
 - (a) ストレーナーのごみづまりはないか確かめる。
 - (b) 止水栓が開かれているか確かめる。
 - (c) 十分な温度（使用する温度より10℃以上）のお湯がきているか確かめる。

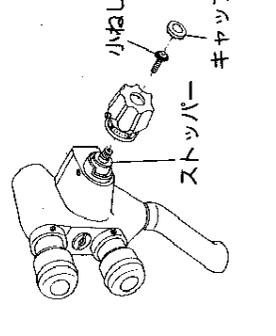
1. 押ボタンを押して吐水させ、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



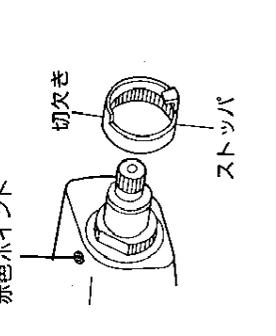
3. 温度調節ハンドルの“40”の文字と赤色ポイントに合わせてハンドルをばめ、小ねじで固定しキャップをはめる。



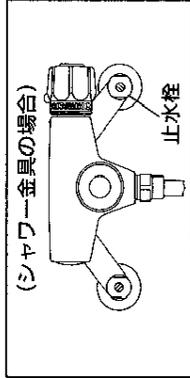
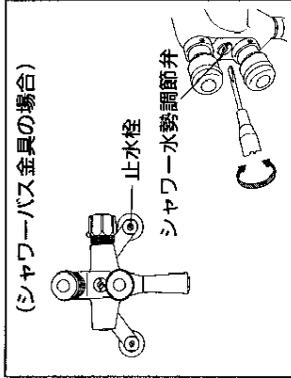
2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。



注) 温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストッパがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。



水勢の調節



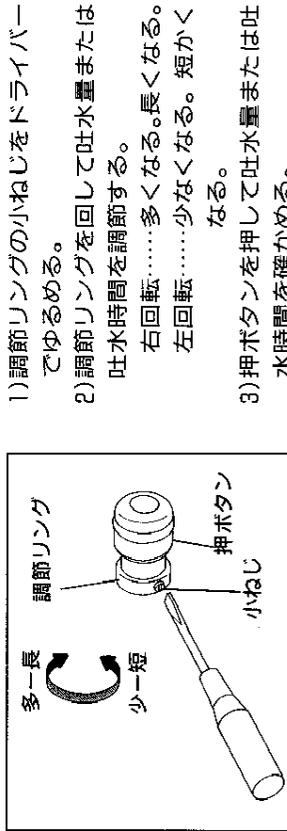
。カラジ側の調節は止水栓にて調節してください。

。シャワー側には水勢調節弁が付いていますので、ドライバーで回して調節してください。

。止水栓にて調節してください。

吐水量または吐水時間の調節

吐水量または吐水時間の調節は、調節リングが付いていますので次の要領で調節してください。シャワー吐水時間の最大は、毎分12ℓ程度の水勢でおよそ40秒程度です。また、1回転あたり4～5秒間程度変わります。



1) 調節リングの小ねじをドライバでゆるめる。

2) 調節リングを回して吐水量または吐水時間を調節する。

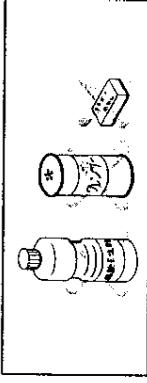
右回転……多くなる。長くなる。
左回転……少なくなる。短くなる。

3) 押ボタンを押して吐水量または吐水時間を確かめる。

4) 調節が終わったら、調節リングが回らないよう小ねじを十分に締付けてください。

手入れのしかた

めっさされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、ときにはミネソラ油やカーワックスなどをしませたまわがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびびりせず、美しい輝きを失いません。なお、クレンジング剤や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわなどはめっさ面を傷つけますので使用しないでください。また、酸性洗剤はめっさをアルカリ洗剤は樹脂部を傷めますので使用しないでください。もし使用したときは、すぐに器具を十分水洗いしてください。



故障したときは

故障の修理はお取付工事店か役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の上水道担当窓口にご相談ください。なおご不明な点がございましたら最寄りの弊社事業所にご相談ください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はお客様でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてみてください。

故障内容	点検箇所	点検項目
カラジからの吐水量が多い	1 5 6 7	1. 止水栓の開度は適当か。
カラジからの吐水量が少ない	1 2 4 7 10	2. 止水栓のストレーナーのゴミづまりはないか。
カラジからの水勢が強い(弱い)	1 10	3. 温度調節は適当か。
シャワーからの吐水時間が長い	1 ⑤ ⑥ ⑦	4. ストレーナー押えはゆるんでいないか。
シャワーからの吐水時間が短い	1 2 ④ ⑦	5. 自閉弁のストレーナーのゴミづまりはないか。
シャワーからの水勢が強い(弱い)	1 2 9	6. 自閉弁の減圧板の目づまりはないか。
水が止まらない	5 6 11	7. 調節リングの調節は適当か。
高温しが出ない	1 2 3	8. 調節リングの小ねじがゆるんでいないか。
低温しが出ない	1 2 3	9. シャワー水勢調節弁の調節は適当か。
ダイヤル廻りのお湯が出ない	1 2 3	10. 逆流キャップのゴミづまりはないか。
調節リングが回る	8	11. 自閉弁のシートにゴミがみはないか。

※○印はシャワー用自閉弁の番号箇所を点検してください。

※点検方法は「逆流キャップの掃除」、「ストレーナーおよび自閉弁の掃除」、「水勢の調節」、「吐水量または吐水時間の調節」の項を参照してください。